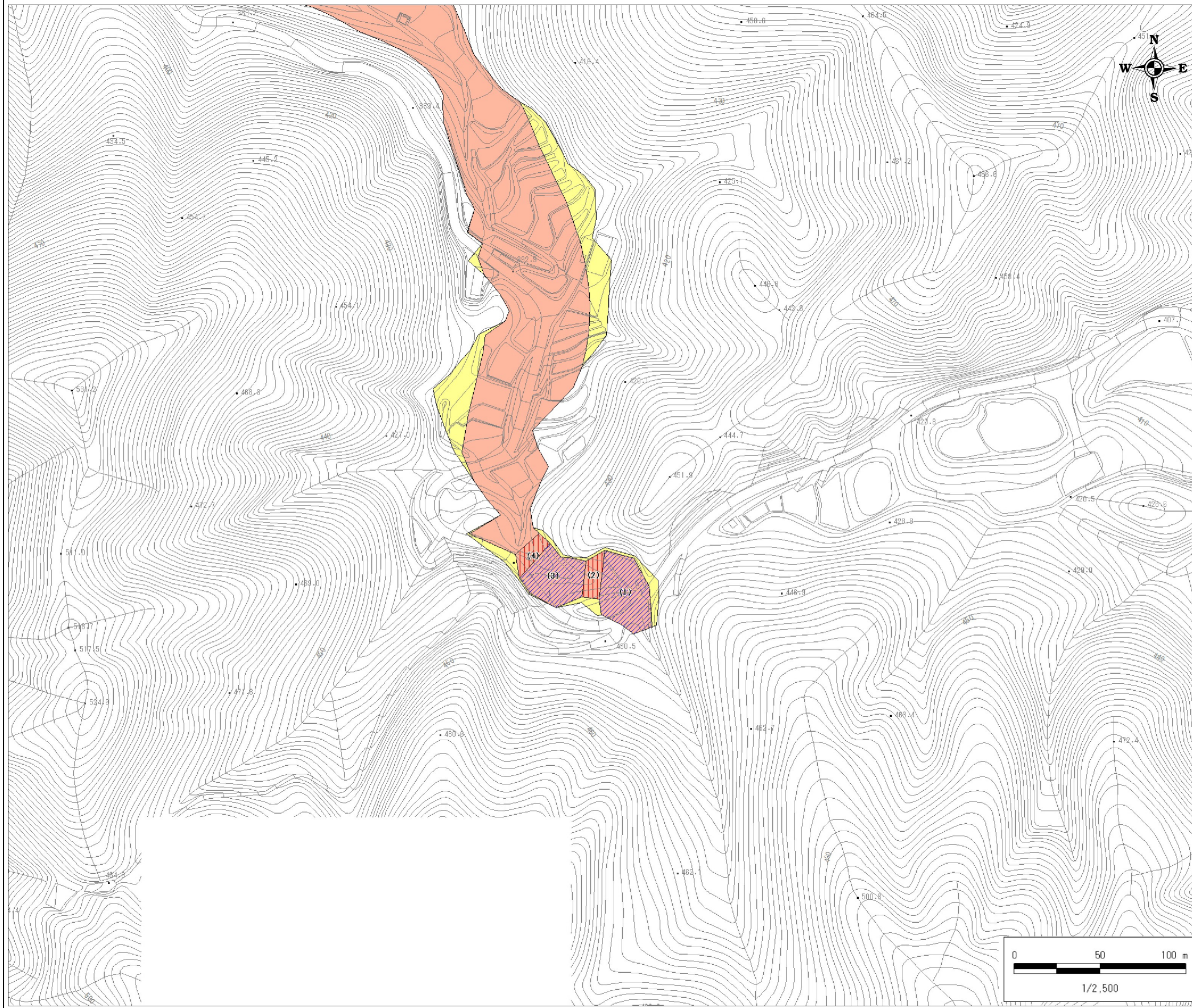


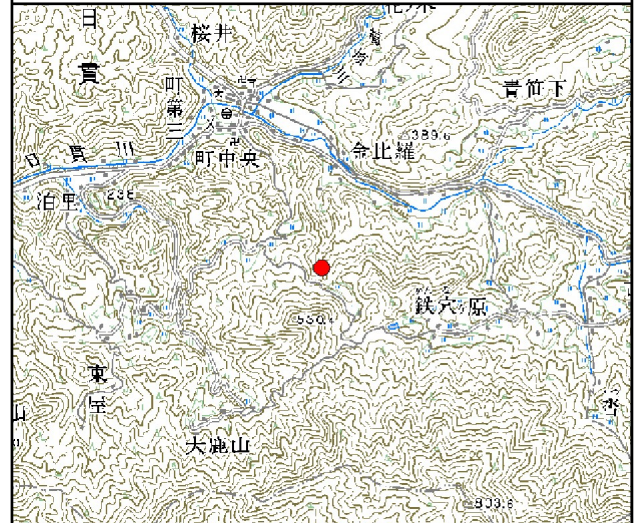
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺: 1/2,500



自然現象の種類	土石流
基礎調査番号	132446A660411096
箇所名	大元川C
所在地	邑智郡邑南町日貫

位置図※ 縮尺: 1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

土砂災害警戒区域
 土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)
 土石流の高さが1mを超える区域
 建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域
 建築物に作用すると予想される力が50kN/m²以下の区域
 それ以外の区域
 道路区域は除く

土石等の力の大きさの表示

区分番号	(A)	(B)	区分番号	(A)	(B)
(1)	41.9	1.5			
(2)	54.3	1.8			
(3)	44.3	1.6			
(4)	59.5	2.0			
(5)	40.6	1.0			

力の区分表記の説明

(A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m²)
 (B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

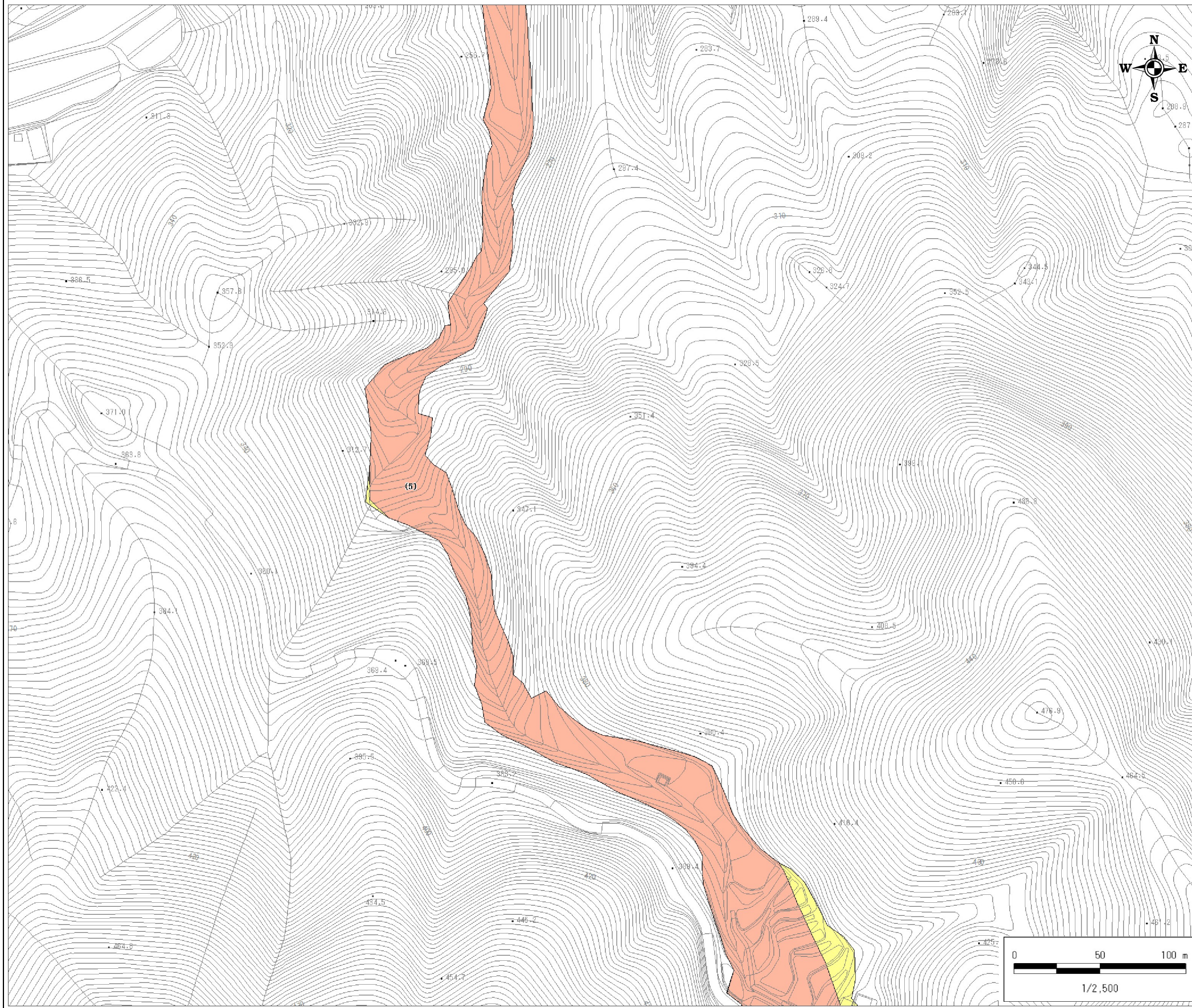
告示履歴

告示年月日	
告示番号	
告示年月日	
告示番号	

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値(計算値)を小数第二位で四捨五入したものです。そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。
 例1) 土石流の高さの計算値が1.01mの場合、四捨五入により1.0mと表示されますが、実際は1mを超えているため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。
 例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01kN/m²の場合、四捨五入により50.0と表示されますが、実際は50kN/m²を超えているため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域」に該当します。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺: 1/2,500



自然現象の種類	土石流
基礎調査番号	132446A660411096
箇所名	大元川C
所在地	邑智郡邑南町日貫

位置図※ 縮尺: 1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

土砂災害警戒区域
 土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)
 土石流の高さが1mを超える区域
 建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域
 建築物に作用すると予想される力が50kN/m²以下の区域
 それ以外の区域
 道路区域は除く

土石等の力の大きさの表示

区分番号	(A)	(B)	区分番号	(A)	(B)
(1)	41.9	1.5			
(2)	54.3	1.8			
(3)	44.3	1.6			
(4)	59.5	2.0			
(5)	40.6	1.0			

力の区分表記の説明

(A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m²)
 (B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

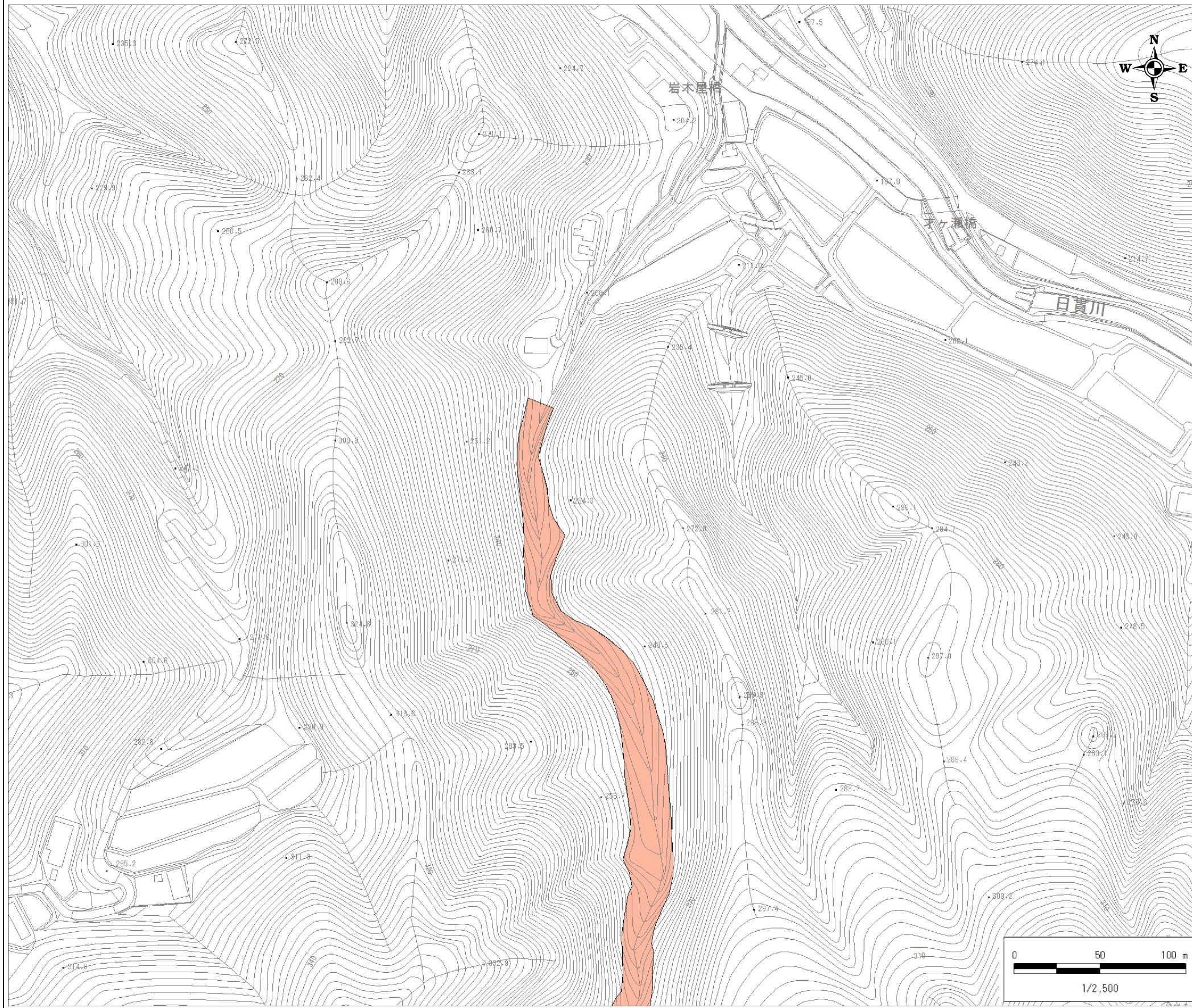
告示履歴

告示年月日	
告示番号	
告示年月日	
告示番号	

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値(計算値)を小数第二位で四捨五入したものです。そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。
 例1) 土石流の高さの計算値が1.01mの場合、四捨五入により1.0mと表示されますが、実際は1mを超えているため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。
 例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01kN/m²の場合、四捨五入により50.0と表示されますが、実際は50kN/m²を超えているため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域」に該当します。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺:1/2,500



自然現象の種類	土石流
基礎調査番号	132446A660411096
箇所名	大元川C
所在地	邑智郡邑南町日貫

位置図※ 縮尺:1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)
	土石流の高さが1mを超える区域
	建築物に作用すると予想される力が50kN/m ² を超える区域
	建築物に作用すると予想される力が50kN/m ² 以下の区域
	それ以外の区域

道路区域は除く

土石等の力の大きさの表示

区分番号	(A)	(B)	区分番号	(A)	(B)
(1)	41.9	1.5			
(2)	54.3	1.8			
(3)	44.3	1.6			
(4)	59.5	2.0			
(5)	40.6	1.0			

力の区分表記の説明
 (A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m²)
 (B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

告示履歴

告示年月日	
告示番号	
告示年月日	
告示番号	

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値(計算値)を小数第二位で四捨五入したものです。そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。
 例1) 土石流の高さの計算値が1.01mの場合、四捨五入により1.0mと表示されますが、実際は1mを超えているため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。
 例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01kN/m²の場合、四捨五入により50.0と表示されますが、実際は50kN/m²を超えているため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域」に該当します。